

JUN通信

高木 純の市政だより
最終号になります



吉野川市議 高木 純

十二月議会高木純の一般質問

川真田市長の選挙公約について質問しました

- 保育士の必要人数の確保
- 中学生卒業までの医療費無料化
- ICTによる教育の充実
- 美化センター跡地に多目的グラウンド
- 鴨島駅前周辺の人の流れ
- ブランド認証品の販路拡大
- 桑村川、学島川氾濫対策
- 公共インフラの耐震化
- 4期目の行財政改革の目玉は

美化センター跡地にサッカーグラウンド

川真田市長が無投票で再選されて初めての定例議会。高木純は市長の公約から九項目を取り上げ質問しました。答弁のなかで市は、美化センター跡地と上桜温泉跡地に人工芝の多目的グラウンドを建設する構想を示し、さらに、臨時雇用の保育士の給与を29年度から月額1000円引き上げる予定であることも答弁されました。以下、質問と答弁の要旨です。

● 保育士の必要人数の確保

質問 保育士不足は全国的な社会問題になっており、市も保育士の確保に苦勞している。よく言われているのは保育の仕事は過酷であること、その割には収入が低いこと、保護者との関係などが、市として保育士不足の現状にどのような対策を考えているのか？

答弁 29年度については、臨時・嘱託職員の賃金が月額1,000円増額されると、嘱託保育士に通勤手当を支給する予定。近年増加する保護者のクレーム対応も、全体で取り組み、個人の負担を軽減する。様々な機関との連携を密にし、保育に関する負担を軽減する働きかけも行っている。

● 中学生卒業までの医療費無料化

質問 公約には「中学卒業まで医療費を引き続き無料にする」とのことだが、現状は三歳すぎたら600円まで一部自己負担になっている。今後完全無料化にするのか？

答弁 完全無料化にすると3000万円の財源が必要となり、多重受診のおそれもある。今後、自己負担金徴収については、見直しも含め検討したい。

● ICTによる教育の充実

質問 教育の分野でのICT（情報通信技術）の活用の到達状況と今後の計画、教える側の体制は？

答弁 本年度において、すべての学校に最大級人数分の教育用のタブレット型パソコンと、新しい校務用ノートパソコンを導入し、教室と職員室に無線LAN環境を整備した。今後、学校ICT化の支援体制の構築と教員のICT活用指導力向上のために、機器の操作や教材づくりをサポートする「ICT支援員」の配備、活用の成果と課題を把握し、ニーズに応じた研修の充実、「指導者用デジタル教科書」等の整備したい。

● 美化センター跡地に多目的グラウンド

質問 公約のなかに「美化センター跡地に多目的グラウンドを作ります」とあるが、現段階での「構想」は？

答弁 度重なる台風で使用ができなくなった鴨島運動場に替わる施設として、「美化センター跡地」と「保養センター上桜跡地」を一体的に活用した多目的グラウンドを計画している。現段階での構想は、主な施設としては人工芝によるグラウンドと駐車場及び照明設備や管理用倉庫・便所などの附帯施設を整備したい。

グラウンドは、105m×68mのサッカーフィールドが十分取れる広さで、駐車場は120台程度。

● 鴨島駅前周辺の人の流れ

質問 麻植協働病院跡地での地域交流センターとアリーナ建設を機に、鴨島駅までの間で「人の流れ」を作るために、駅前アーケードが途切れた所から、アリーナまで屋根付歩道で延伸させてはどうか？

裏面に続く



上空から見た美化センター跡地